



8月1日に本格オープンする「SHIMOASO CAFE」



下阿蘇海岸前でカフェを開業する田村雄貴さんとかおりさん夫妻

移住夫妻がカフェ開業

地域おこし協力隊員から定住

延岡市北浦町 田村雄貴さん・かおりさん

神奈川県川崎市から昨年5月に延岡市北浦町に移住した田村雄貴さん(33)とかおりさん(34)夫妻が8月1日、同町古庄でカフェ「SHIMOASO CAFE」を開業する。今月23日からはメニューを限定してプレオープン。本番に向けて最終準備に入っている。

同カフェは、目の前に環境省快水浴場100選特選の下阿蘇海岸が広がる好立地。メニューは同町の松原農園が手掛ける自然養鶏卵を使ったミルクセーキが一番人気。青いハーブティーとして知られるタラサイヒイタイ、大賞町のコーヒード豆専門店「豆間」も用意する。オ

屋から仕入れている夫妻おすすめの「優雅ブレンド」、オリジナルカクテル「下阿蘇ブルー」や町特産月の塩を使ったソルティドックなどドリンクを中心に、夏場にはシーズン限定でかき氷、焼きそば、フランクフルト、枝豆などの「海の家メニュー」も用意する。オ



併設しているミニドッグラン「わんわん広場」

ドリンク中心、ドッグランも

「水辺に行く文化」の浸透を目指す

夫妻は移住以降、同町の地域おこし協力隊員として地域の観光資源をPRしながら定住自立を目指してきた。飲食関係の仕事経験を持つ雄貴さんは市

職員から下阿蘇ビーチ浜木線はまゆり村内の元マリナーハウスを紹介され、カフェ開業を決意。かおりさんとも約1年をかけて、長く人の手が入っていないかったハウスの整備、店舗レイアウトやメニューの考案などの準備を進めた。

雄貴さんは「プレオープンに合わせて協力隊を退任したが、かおりさんは同活動を継続。今後はカフェを拠点に各種イベント開催などを通して下阿蘇の集客力向上、地域への経済波及を図っていくという。二人は下阿蘇をより一層年間を通してくまびるビーチにしたい。「水辺に行く文化」の浸透につながればと話している。

「SHIMOASO CAFE」の営業日は水・日曜。営業時間は8月1日午前10時30分～午後5時、2日以降は当面の間午前9時～午後5時。問い合わせは同カフェ(電話)097-0440007(ホームページ)https://shimoaso-cafe.com/